3月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

将来に続く市政運営を

市民のために！

岡崎豊議員は、代表質問において、地権者が協力を撤回し大きく後退した道の駅構想は取りやめるべしとただした。新年度の予算編成では、財政の健全化、防災対策の強化と地方創生の取り組みを求めた。連携中枢都市圏構想や立地適正化計画では、市の主体性の発揮や「多極」をキーワードにしたまちづくりを提案。学習指導要領改訂に合わせ、学力向上や英語・理数教育の充実を求めた。

深瀬裕彦議員は、春野町南山の森林伐採に関連して、現状届け出制であることの問題点を指摘し、森林の伐採や土地の埋め立て、切り土、盛り土等を許可制とする条例の制定の必要性を訴えた。また、長浜南部地域振興計画の策定に関連して、この地域に限らず、春野地域などの

人口減少地域での対策も必要との見地から質問した。

浜田拓議員は、介護殺人などを取り上げた番組を見るにつけ、今の政治への怒りが募るばかりだとして、全国市長会副会長で国への影響力がある岡崎市長に、高齢者介護に関わる社会保障の拡充等の問題提起を強く求めた。また「平和・人権・民主主義」を基調とするわが国の憲法を守り、発展させる立場を表明するよう強く求めた。

新風クラブ

厳しい経営の下水道事業

独立採算制による厳しい経営環境下で赤字が続く下水道事業の今後についてただした水口晴雄議員に対し、岡崎市長は「現在、民間有識者からなる経営審議会で議論していただいております。3月末に予定している答申を踏まえ、さらなる経費節減策と早期の使用料改定について、議会と議論を重ねたい」と答えた。

西敷地は高度利用が最善

清水おさむ議員は、新図書館西敷地について、一部市民から要望がある緑地広場のみでの活用は、自立的自治体経営の視点からは論外であると主張。岡崎市長は「公有財産の貸し付け等によって歳入を増やすことは重要な取り組みであり、賃貸借を考慮した利活用の基本方針を策定する」と答えた。

公社等の統合でさらなる行革を

市環境事業公社と市再生資源処理協同組合の統合の必要性をただした中澤はま子議員に対し、岡崎市長は「両施設は津波浸水エリアに存在し、老朽化の問題もある。災害時の業務継続に関する方針を早急に決める時期を迎えており、環境部内に対策室を新設して検討を加速させる」と答えた。

日本共産党

道の駅事実上断念。西敷地を広場にとの市民の声の反映とプロポーザル予算撤回を求める。

代表質問の細木議員はじめ一般質問、討論に全7議員が登壇。地権者の協力撤回で事実上不可能となった道の駅構想を撤回しないままでの長浜南部地域振興計画策定関連予算と、西敷地の長期民間貸し付け、高層ビル建設につながるプロポーザル選定関係予算は、市民の声を無視した予算であり削減を求めた。年金引き下げによる本市経済への影響は約30億円に上り、市民の暮らしを支える介護、医療（国保）行政を求めた。硬直化が懸念される市財政の長期的見直しをただし、起債償還額はピークとなる平成35年度に180億円に達することが明らかに。下水道料金の17・7%値上げによる財政計画の矛盾を指摘。本来行うべき一般会計から上水道事業への繰り入れを怠った市の責任を認めさせる。過労死ラインを

超える市職員の長時間労働の実態をただし、定数確保と業務量検証による解消を約束させる。中学生の自衛隊での職場体験学習実施校拡大の実態をただし、少年兵禁止ルールにのっとった運用を求めた。

公明党

市民に寄り添う公明党議員

高木妙議員は、財政・地方創生・国保・防災・子育て支援などの新年度当初予算案について代表質問を行いました。市長は「宿泊型の産後ケアについても具体的に検討を進める」と答えました。

伊藤弘幸議員は、木造住宅密集地域の消防対策についてただし、消防局長は「火災防御計画を作成し、進入経路や筒先配備部署などを事前に指定し、迅速かつ効果的に対処できる計画を策定する」と答えました。

大久保尊司議員は、教育行政におけるカラーユニバーサルデザイン（どんな人にも色の見え方の違いによる情報が伝わるように配慮されたデザイン）について質問を行い、資料等の作成について配慮を求めました。

寺内憲資議員は、全国的には清掃員・給食調理員・用務員の業務を民間委託している自治体もあることから、受け皿のある高知市も公で行うのか、民間に任せるとかを市民に問うべきではないかと市長に迫りました。

新こうち未来

新図書館西敷地は緑地として人々の集う場所

新図書館西敷地は、緑地として残すべきだと考えている。中心市街地にあるからこその子どもからお年寄りまでが集える空間、また、観光に訪れた方や新図書館で学び一休みされる方が、四季折々の自然を感じることで残す空間として残すべきである。市民アンケート結果や検討委員会からの報告でも「広場機能等」が最も高く評価されており、この結果に逆行する新図書館西敷地利活用事業者選定委員会報酬を減額する修正案を提出した。その他、中山間地域における竹害対策や万々地区浸水対策、地方創生関連、高齢者福祉、動物愛護センター、特別支援教育のあり方など多岐にわたり質問。代表質問には氏原嗣志議員、個人質問には戸田二郎議員、福島明議員、川村貞夫議員、浜口卓也議員が登壇した。

みどりの会

近森正久議員は議員になって6年目を迎えます。高知中央高校の理事長と議員、二足のわらじで高知市の問題点の改善に全力で知恵を絞り、市民のためにたくさんの実績を残してまいりました。これからも市民の幸せのために、なお一層頑張っていくよう努めてまいります。